



私たちは、障がいを持つ方々の 「働きたい」想いを叶えます！

「働きたい」想いを叶える！

高い就職率を実現し、定着させる実践的なサポートプログラム

障がいのために働きにくさを抱えた方々が数多くいらっしゃいます。

しかしそれでも前を向き、社会の中で生きていきたい、

人や社会とつながりを持ちたいという想いを、私たちがお手伝いします。

COURSE

就労移行支援

定員 10 名

自立訓練

定員 10 名

一般就労を目指す、訓練コース

COURSE

就労継続支援 A 型

定員 10 名

最低賃金以上で働きながら訓練し、
一般就労を目指すコース

一般企業への就職実績 平成 27 年度 / 7 名 平成 28 年度 / 8 名



見学・ご相談・各種お問い合わせは

☎ 0285-39-6270

ソーシャルファーム小山

就労継続支援 A 型 / 就労移行支援 / 自立訓練

〒323-0807 栃木県小山市城東 2-8-19

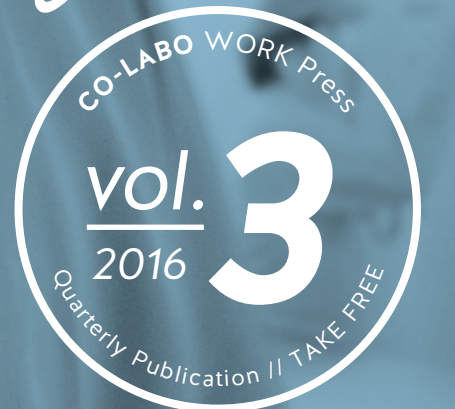
fax 0285-39-6271



http://www.kyoudou.net/

こらぼワークプレス

CO-LABO WORK Press



LET US WORK TOGETHER...

年齢も、障がいも、働きにくさをこえて。

笑顔につながる仕事を つくること

こらぼワーク小山事業所×ソーシャルファーム小山

仲間と一緒に 仕事をつくる

企業組合とちぎ労働福祉事業団

〒321-0152 栃木県宇都宮市西川田 7-1-2 tel 028-645-5561 fax 028-659-4959



LET US WORK TOGETHER...

笑顔につながる仕事をつくること

こらぼワーク小山事業所×ソーシャルファーム小山
CO-LABO WORK Oyama and Socialfirm Oyama

働きたくても働けない。
なかなか合う仕事が見つからない。

働くことに難しさを抱えている人は、想像以上にたくさんいます。
そんな人にこそ、仕事次第で弱みが強みになることを知ってほしい。
その人しかできない仕事があることを伝えたい。
そんな想いがこらぼワークの原点でした。

生協物流センターの倉庫内作業を中心とした「小山事業所」と
障がい福祉サービス事業所「ソーシャルファーム小山」は、
様々な理由で働きにくさを抱えた人を応援する取り組みをしています。

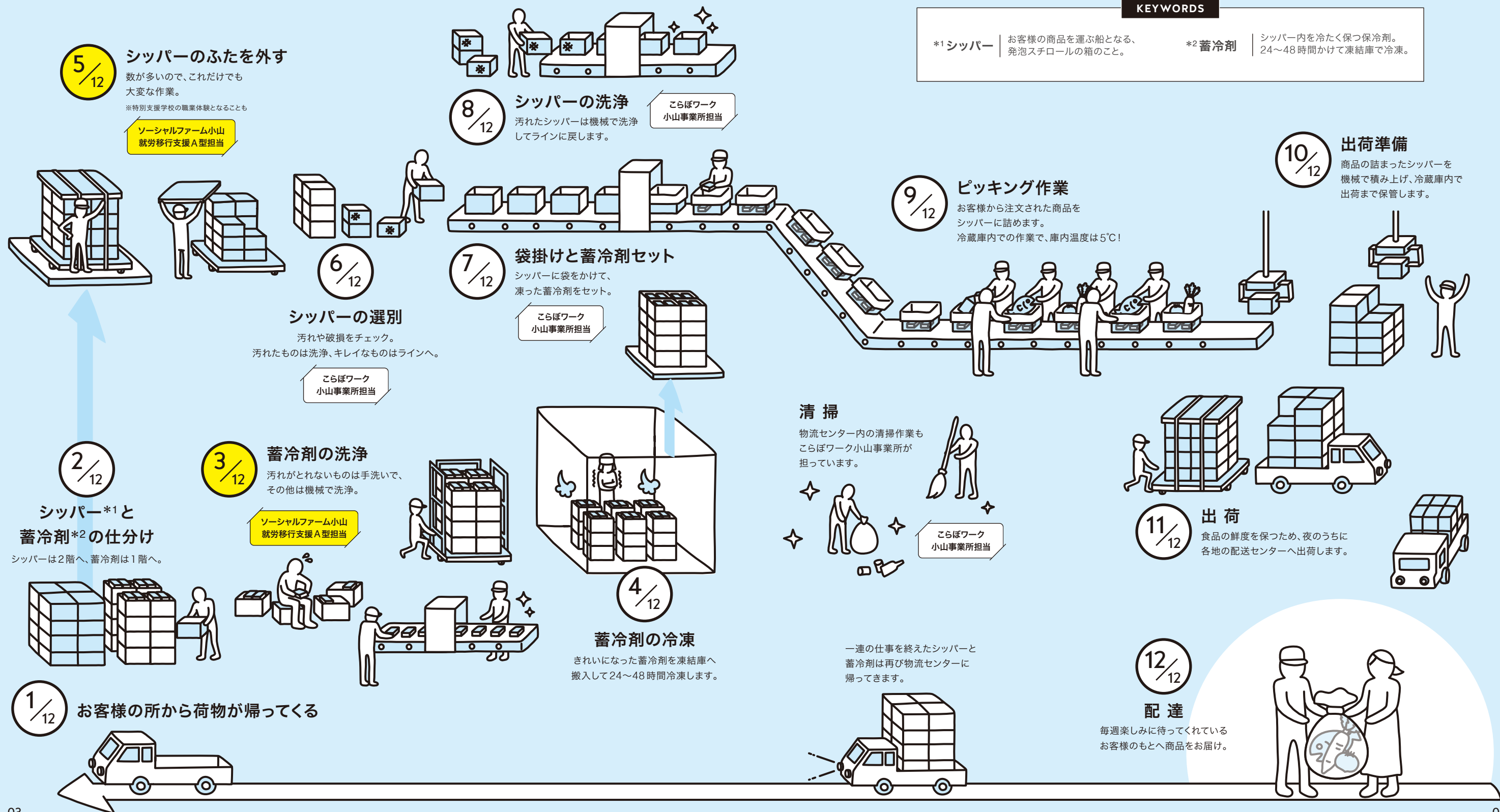
はたらくことは、仲間と一緒に社会とつながること。
その先には、喜んでくれる誰かの笑顔がきっとある。
そう信じて、つながりのなかで「仕事」をつくり続けます。

一緒に はたらく 舞台

生協物流センター

生協物流センターではこんな仕事をしています。

こらぼワーク小山事業所、ソーシャルファーム小山では、生協（coop）さんの宅配事業における物流の一端を請け負っています。毎日の食卓を彩る食材。その商品を大切に育てた生産者と消費者をつなぐ物流の仕事。顔が見えないからこそ、単なる商品ではなく想いをしっかり届けたい。そんなつながりを大切に、今日も倉庫内はフル稼働。楽しみに待っているあの人の笑顔のために。



POINTS

倉庫内で1日に扱うシッパー*1の総数は、なんと！4万箱以上！！

商品は、翌日には栃木県、茨城県、群馬県全域のご家庭へお届け！

作業の一部を、ソーシャルファーム小山で訓練する障がい者が担当！

KEYWORDS

*1 シッパー | お客様の商品を運ぶ船となる、発泡スチロールの箱のこと。

*2 蓄冷剤 | シッパー内を冷たく保つ保冷剤。24～48時間かけて凍結庫で冷凍。

INTERVIEW

誰もが安心して働ける、就労の場づくり

障がいがあってもなくても、全員が共に
プロとして働ける環境を目指して。

働きにくさから、勝ち取った信頼。

栃木県小山市にある生協さんの物流センター。25年にわたり宅配商品をご家庭へと届ける拠点となってきた。こらぼワークでは、施設ができた翌年から倉庫内作業の一部を請け負っている。広い倉庫内に足を踏み入れると、シッパーと呼ばれる発泡スチロールの箱が移動する音や機械音が鳴り響く。帽子をかぶり真剣なまなざしで仕事に集中する人たち。リズムカルに作業が進められる手さばきは、さながらミュージカルの一場面のように。

こらぼワークで働いている人は約60(SF 指導員・利用者含め70名程度)名程度。その中には、障がいや働きにくさなど抱えている人が何人かいるという。ハンデキャップを持っていても、一般の枠で採用。障がいは関係なく同じ賃金からスタートし、能力次第で給料が上がる仕組みだ。「ハンデキャップがある方は、本人の意思を確認した上で最初からみんなと共有をします。ギスギスせずに仕事がスムーズにいきますね。障がいがあってもなくても壁がなく、みんな良い雰囲気で働いていますよ。」

14年前の入社時よりいい関係性が築けていると、小山事業所所長の五十嵐さん。自称、負けず嫌い。「トラブルがあった時に「こらぼワークでは?」と思われるのが嫌で徹底した管理をしました」と、強い意志をのぞかせる。今では「こらぼワークなら安心」という信頼へと変わったという。弱みが、強みに変わった瞬間。スタッフの自信へとつながった。バンドでドラムを担当していた五十嵐さんは、全体のリズムや流れを操る縁の下の力持ち。個性豊かな人々がいきいきと働き、心地よいリズムが倉庫内で奏でられている。



寄り添って、一緒に働くこと。

仕事に色々なメニューがあれば、個性を持つ人たちの多様な働き方を実現する機会がつかれる。「物流」とひと言にいても、仕事の内容は多岐に渡っている。物流のみならず、さらに庫内の清掃作業もこらぼワークで請け負っている。清掃やゴミの回収・分別を担当している大方さんは勤続年数20年のベテラン。実は、大方さんは障がい者手帳を持たないが「働きにくさ」を抱えている人のひとりだ。「大方さんはうちのムードメーカーです。“バンビ”という扱いの難しい汚水処理の機械を使わせたら達人級ですね」と尊敬の眼差しで大方さんを見つめる五十嵐さん。ひとり一人が社会にとって必要な役割を担う、それがこらぼワークの原則だ。



長く働いてもらえる、工夫をこらす。

こらぼワークで働く仲間達の離職率は低い。それには理由がある。まず仕事をもらった時点で管理者が実際にその業務をこなして手順などを見直す。そして、何より現場の声に常に耳を傾ける。例えば、蓄冷剤のセットは足下が冷えてつらい作業。そんな声を反映させて、30分刻みで歩いたり、別の作業をする工程に変えた。取材をした日は、ちょうど新人さんの研修中。箱の選別方法を五十嵐さん自らが作った動

画を使って学習をするという。「どうやったら理解してもらえるか常に工夫していますね。」この動画は同じセンター内で働く他の企業さんにも好評だそう。また、2007年にはジョブコーチ（職場適応援助者）制度を導入した。工夫の積み重ねが、結果として高い定着率へとつながる。しかしながら、2013年にソーシャルファーム小山をスタートするまで、「障がい者雇用」の課題がずっと棘となって残っていた時代があった。



INTERVIEW

実践的なサポートで 「働きたい」を叶える仕事

障がいを持つ方々の就労支援を行う
ソーシャルファーム小山

HISANORI TSUNODA

津野田 尚範

障害福祉サービス事業所
ソーシャルファーム小山 管理者

はじめは、
「もっとできることがあるはず」。

ソーシャルファーム小山（以下 SF 小山）ができる以前、小山事業所では障がい者向けの職業訓練を実施していた。しかし、実習をしても定員オーバーで受け入れきれなかったり、一般枠で採用しても対応できずに現場が混乱した時期も。

そこで、「せっかくの働く意欲や能力をムダにはできない」と着目したのが、障がい者の自立と社会参加を支援する「ソーシャルファーム」※1というユニークなビジネスモデルだった。

「障がいがあっても働きたいという方と、障がいのある方を雇いたいという企業さん。それぞれニーズがあってもうまくマッチングしないという現状があります。その原因は、企業さん

と働き手のギャップ。それを調整して埋める訓練をすれば就職できるし、ちゃんと支援すれば働けるんです。そうやって働きにくさを抱えた方が安心して長く働けるようにすることが私たちの仕事、「就労支援」です。」
軽やかながらも熱のこもった口調で語ってくれたのは、SF 小山の管理者、津野田さん。

津野田さんは親族に身体障がいのある方がいて、就職や仕事で苦勞をしている姿をずっとみながら育ってきた。
「自分に何か出来ることがあるのでは」と問い続け、福祉施設を対象にした一般企業での営業、就労支援施設で職業訓練の講師を経験してきた。

「働きたいという障がい者のために、もっとできるはず」就労者のさらなる輩出を目指し、こらばワークに参加して SF 小山の立ち上げ

を担当。現在の施設運営に至るまで、これまでの経験やビジネスの視点が活かしている。「SF 小山ができて、訓練を受けた方は可能な限りそこで働いてもらえるようになりました。小山事業所とも連携して、一般採用されたハンデキャップを持つスタッフの相談や調整も出来るようになりましたね。」
ひとつひとつの仕事や想いがしっかりとつながって道が切り開かれていく。



※1 ソーシャルファーム小山

就労継続支援 A 型 / 就労移行支援 / 自立訓練

〒323-0807 栃木県小山市城東 2-8-19
tel 0285-39-6270 / fax 0285-39-6271



本気で就労するために
社会で働くチカラを身に付ける学校。

現在 SF 小山では、自立訓練、就労移行支援、就労継続支援 A 型のサービスを展開している。それぞれ担当しているスタッフは分かれているが、小山事業所のスタッフを含めて情報を共有し合い、個々の利用者さんのことをよく理解している。

生協物流センターで働く A 型の利用者さんは現在 10 名。2階でお客様の所から帰ってきたシッパーのふたを外す作業と、1階で蓄冷剤の洗浄を担当している。日によって作業数が違うので、多い日には移行支援の利用者さんが手伝うという流れだ。みんなで協力して庫内の仕事をまわしている。

「蓄冷剤が入るケースはひとつ10キロもあっ

て、荷台に何段も積み重ねられていくと計160キロ近くに。まさに体力仕事なので、なかなか寝付けなかった方が仕事をする中でよく眠れるように。体力をつけて一般企業でのフルタイムの仕事に繋がった方もいます。」
蓄冷剤を箱から出して洗浄用のケースに入れ替える作業は、上に積んでいく際にきっちりやらないと倒れてしまうという、正確さが求められるもの。きっちり几帳面な性格の利用者さんにはぴったりはまった仕事だという。ここでも、こらばワークの原則が根付いている。働きたいという想いがあれば、必ず合う仕事が見つかる。そして、その想いにしっかり寄り添うサポート体制があれば、自信を持ってチカラを発揮できる。

「就労支援は、様々なケースがあっても本質は一緒です。企業や組織で求められることは、

障がいのあるなしに関わらず同じく、人間関係。実際に企業の現場で働き、コミュニケーションをとり、つながりの中で仕事することが大切です。」

小山事業所でも SF 小山でも、様々な事情を抱えた方がみんな同じ舞台と一緒に働いている。そこには働いている仲間の特性や性格を理解し、自然と助け合うという日常的な風景がある。
社会のつながりの中でその人らしい仕事を見つけ、輝き、豊かに働く。理想の障がい者支援のカタチが、ここから広がっている。

リジチャーの Q&A



坊や

リジチャー! ニュースで耳にしたんだけど、シエンジギョウでシュウロウとかケイソクとか? A 型とか B 型ってなあに??



リジチャー

やあ、坊や。相変わらず意識の高い質問、うれしいね。「働きにくさ」を抱えた方へ、仕事をする上で必要なスキル等を身につけるための福祉サービスのことだよ。



坊や

ふーん。で、どんな種類があるの?



リジチャー

働く機会を提供する「継続支援」と訓練を通してスキルの向上を図る「移行支援」、就労に向けて日常生活を整える「自立訓練」と種類があって、それぞれに特徴があるんだよ。

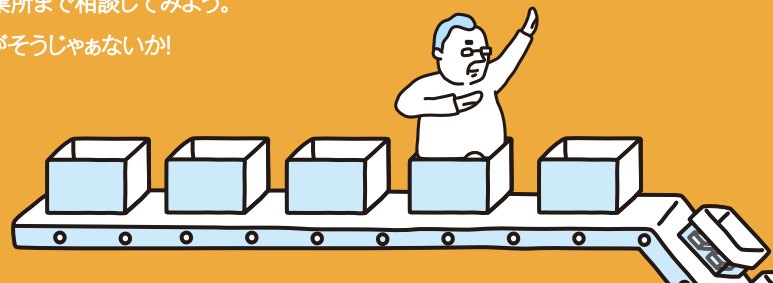
就労移行支援 / 就労継続支援 A 型 / 就労継続支援 B 型

就労移行支援	就労継続支援 A 型	就労継続支援 B 型
雇用契約 結ばない	雇用契約 結ぶ	雇用契約 結ばない
最低賃金 なし（工賃あり/事業所により異なる）	最低賃金 あり	最低賃金 なし（工賃あり）
利用期限 原則 2 年	利用期限 なし	利用期限 なし
一般就労を目指す障害者が支援事業所に通いながら様々な作業を通じて、仕事の仕方やビジネスマナー、コミュニケーションの取り方などを学ぶ。	企業での就労が困難な方に対して支援を受けながら働ける場の提供を行う。雇用契約を結び、最低賃金以上の給料が支払われる。	雇用契約を結ばないので、最低賃金はなく、工賃が支払われる。その分、自分のペースに合わせて働く事が出来る。



リジチャー

役所やハローワーク、病院等の関連機関と連携しながら、個々の適性に合った就職を目指すんだ。その人にあった準備段階、環境、仕事があるんだね。まずは、各市町村福祉課窓口や、気になる事業所まで相談してみよう。さあ、坊やも社会の一員として一緒に汗水ながそうじゃないか!



企業組合とちぎ労働福祉事業団

<http://www.kyoudou.net>

本 部	〒321-0152 栃木県宇都宮市西川田 7-1-2 tel 028-645-5561 fax 028-659-4959
宇都宮事業所	〒321-0152 栃木県宇都宮市西川田 7-1-2 tel 028-645-5561 fax 028-680-6598
小山事業所	〒323-0808 栃木県小山市出井 1523-19 協栄流通株式会社小山物流センター内 tel 0285-25-1805 fax 0285-25-1816
福祉住環境事業部	〒321-0152 栃木県宇都宮市西川田 7-1-2 tel 028-645-5561 fax 028-684-2403
ソーシャルファーム長岡	〒320-0004 栃木県宇都宮市長岡町 293 tel 028-680-6612 fax 028-680-6613
ソーシャルファーム小山	〒323-0807 栃木県小山市城東 2-8-19 tel 0285-39-6270 fax 0285-39-6271

Publishing : CO-LABOWORK
Art Direction & Design : FRONT DESIGN
Edit : Hitomi Yoshida (FRONT DESIGN)
illustration : Syuichi Saito (FRONT DESIGN)

We are deeply grateful to all the people who helped to create this paper.

Copyright 2015 CO-LABOWORK. All Rights Reserved.